

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	施策番号	32
主担当部署	部名	部長名	
	企画部行財政改革担当 総務部 都市部 土木部 土木部下水道担当	古宮 雄二 安藤 隆幸 黒田 繁 小川 博志 重田 浩光	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	幹線道路網の構築や下水道の整備など、暮らしに身近な都市基盤施設の機能更新が図られた、便利で機能的なまちをつくります。 橋りょうや公園など、既存公共施設の計画的な維持管理や保全による長寿命化を図るとともに、公共施設の有効活用により、既存ストックを大切かつ上手に使うまちをつくります。			
施策内容	修復期や更新時期を迎える公共施設の計画的な修繕や維持管理などにより、公共施設の長寿命化を図るとともに、多目的利用などの有効利用を進め、効率的で機能的な施設管理を推進します。			
目標とする状態	既存施設の長寿命化が図られ、適切な維持管理・保全により、市民が安心して施設利用ができています。			
目標の達成度を測る指標	【指標名】		区分	
			【当初値】	【目標値】
	橋りょう長寿命化対策実施率		-	12%
	公園長寿命化対策実施率		-	28%
施策を構成する「主な事業」	主な事業		事業の概要	
	橋りょう長寿命化対策事業		橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、震災時の緊急輸送路に位置づけがされている橋りょうの修繕などを計画的に実施し、長寿命化を図ります。	
	下水道長寿命化対策事業		下水道長寿命化計画に基づき、計画的な管更生等を行い、長寿命化を図ります。	
	市営住宅長寿命化対策事業		市営住宅長寿命化計画に基づき、受水槽や屋上防水の修繕など、計画的な改善により長寿命化を図ります。	
	公園長寿命化対策事業		公園施設の計画的な長寿命化を推進するとともに、地域の利用実態などに応じた改善を図ります。	
	行政文化センター駐車場改善事業		行政文化センター駐車場の安全確保と施設利用者の利便性向上を図ります。	
	総合運動公園体育館天井改修事業		体育館の天井の改修を行い、施設の維持・管理・保全を図ります。	
	総合運動公園再生修復事業【H28年度から】		総合運動公園の再整備に向け、市民参加による検討会議などを行い、総合運動公園再整備基本方針を策定します。	



事業実施 (Do) へ

施策実施 (D○)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段：達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
	橋りょう長寿命化対策実施率	-	12%	↗	0%	1.92%	4.8%	9.6%
					0%	16.0%	40.0%	80.0%
公園長寿命化対策実施率	-	28%	↗	0%	0%	16.0%	26.2%	
					0%	0%	57.1%	93.6%

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額	
	事業費合計(a)	192,356	千円	172,748	千円	413,418	千円	590,746	千円	549,215	千円
	人件費合計(b)	22,260	千円	18,480	千円	23,838	千円	23,838	千円	23,838	千円
	トータルコスト(a)+(b)	214,616	千円	191,228	千円	437,256	千円	614,584	千円	573,053	千円

市民意識	項目		平成27年度	満足度と重要度の相関図		A 優先的課題 B ニーズ充足 C 選択的課題 D 現状維持	その他の市民ニーズ、意見		
	満足度	施策の値	0.24	↑ 重要度 ↓	← 満足度 →			1.20	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している施設は統廃合し、数を減らして有効活用すべき。放置状態の施設が多い ・小さい公園が点在していてあまり機能していないし、管理もよくなく、夏場は草が生えっぱなし ・道路の舗装が整っていない(住宅街)
		平均値	0.32						
	重要度	施策の値	1.19						
平均値		1.20							

■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	32-101	橋りょう長寿命化対策事業	橋りょうの修繕及び耐震化済みの橋りょう数	-	6橋	5橋	○	土木維持補修課
2	32-102	下水道長寿命化対策事業	長寿命化実施済率	17%	17%	17%	◎	河川・下水道整備課
3	32-103	市営住宅長寿命化対策事業	市営住宅長寿命化計画改善事業の進捗率	-	23.2%	11.8%	△	建築住宅課
4	32-104	公園長寿命化対策事業	長寿命化対策済の公園数	-	5公園	-	×	公園緑地課
5	32-105	行政文化センター駐車場改善事業	行政文化センター駐車場の混雑日数	約140日/年	約30日/年以下	141日/年	×	管財契約検査課
6								
7								

■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	32-101	橋りょう長寿命化対策事業	B	B	A	A	A	土木維持補修課
2	32-102	下水道長寿命化対策事業	B	-	A	A	A	河川・下水道整備課
3	32-103	市営住宅長寿命化対策事業	A	-	A	A	A	建築住宅課
4	32-104	公園長寿命化対策事業	B	-	A	A	A	公園緑地課
5	32-105	行政文化センター駐車場改善事業	C	-	C	B	B	管財契約検査課
6								
7								

↓ 評価 (Check) へ

評 価 (Check)

<p>指標(施策の目標)の達成度評価 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 既に達成している(A) <input type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input checked="" type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D)</p>	<p align="center">D</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>「橋りょう長寿命化対策実施率」は、事業財源となる社会資本整備総合交付金における国の配分額の減少により、達成が見込まれない状況にある。 「公園長寿命化対策実施率」は、計画的な長寿命化を推進してきたが、目標値とする28%にはわずかに届かず、達成率は93.6%にとどまる見込みとなっている。</p>
<p>「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 高い(A) <input checked="" type="radio"/> 普通(B) <input type="radio"/> 低い(C)</p>	<p align="center">B</p>	<p>取組による成果</p>	<p>市民に公共施設を安心して利用していただく上で、維持管理・保全是適切に行わなければならない。特にストックの有効活用という観点からも長寿命化対策は重要である。 長寿命化計画により、より計画的な維持管理への転換を図り、財政負担の平準化を図るとともに、計画的、効率的な改修・更新を推進した中で、老朽化対策・防災対策を着実に推進していく必要がある。</p>
<p>市民意識の反映 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 反映している(A) <input checked="" type="radio"/> 概ね反映している(B) <input type="radio"/> 反映できていない(C)</p>	<p align="center">B</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>平成27年度に行った市民意識調査では、満足度・重要度ともに平均値よりやや低い状況にあるが、前回調査との比較から、市民意識を概ね反映したものと整理する。一方、重要度はやや低下しており、公共施設等総合管理計画に基づく今後の対応など、本取組の重要性について、正確でわかりやすい情報提供等に努める必要がある。日頃の業務においても、施設の適切な維持管理をはじめ、効果的かつ効率的な運営を求める意見も寄せられており、本施策の更なる推進が必要である。</p>
<p>施策を取り巻く環境変化</p>	<p>本市では既存の公共施設について計画的なマネジメントに取り組むため、平成28年3月に公共施設等総合管理計画を策定しており、当該計画に基づく適切な対応が求められている。 また、道路法改正等を受け、平成30年度までに、すべての橋りょう(224橋)について、5年に一度、近接目視で点検を行い、健全性を4段階に診断することとなったことと合わせ、公共下水道においては、施設全体のストックマネジメント計画を策定することが、義務づけられたため、事務事業の計画期間等について見直しが必要となっている。</p>			
<p>施策推進上の課題</p>	<p>公共施設の管理運用に関する既存の法制度等の見直しも想定され、その動向を注視するとともに、公共施設等総合管理計画に基づき、効率的で機能的な施設管理を推進する必要がある。 橋りょう点検について費用の増加、実施時期の前倒しとともに、全国的に実施時期が集中するため、国庫補助による事業財源の確保を含め、業務発注方法について調整等が必要となる。公共下水道については、ストックマネジメント計画の策定が必要であるが、計画策定内容が確立されていないことから、国・県との調整が必要である。</p>			

↓ 施策の改善 (Action)へ

施策の方向性 (Action)

<p>今後の方向性の判断</p>	<p>取組の方向性 〔選択〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 拡大して実施 <input type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>修復期や更新時期を迎える公共施設の計画的な修繕や維持管理などにより長寿命化を図るとともに、ストックとして有効利用を図ることは、これからの自治体経営において、ますます重要性を増すものと考えられる。 また、インフラ等が長期間にわたり安全安心に利用し続けられるよう、定期的な点検・診断結果に基づく計画的な維持管理が必要である。</p>
	<p>施策の方向性 〔選択〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>各公共施設の長寿命化対策などの取組を構成事業とする本施策については、その手段として有効であり、継続すべきものと考えられる。 また、インフラについては、施設が安全安心に利用し続けられるよう、引き続き、長寿命化計画等により、適切な維持管理をすることで、より効果的、効率的な改修・更新を推進していく必要があると考える。</p>